

【別紙】

議会基本条例の検証に係る市民懇談会（市民モニター）意見

宍粟市議会改革特別委員会

宍粟市議会基本条例の検証に係る市民懇談会（市民モニター）意見

・市民懇談会開催日

第1回：平成31年1月30日午後7時から午後8時50分

第2回：平成31年2月15日午後7時から午後8時40分

・参加者

市民モニター：6名

議会改革特別委員会：大畑委員長、津田副委員長、神吉委員、浅田委員、田中（一）委員、山下委員、西本委員、今井委員、（事務局）宮崎局長

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方
<p>*議会の活動原則 議会傍聴及び参加意欲を高める議会運営</p> <p>①一般質問や議会の仕組みを広く市民に周知する</p>	<p>首長と議会はそれぞれ立場・役割が異なるので、議会の特色を出すことにより存在価値を示すべきで、行政の追認機関とならないためにも議論が必要。</p> <p>議論をする場が議会であり、住民を代表して意見を闘わせる（討論・議員間討議）。</p> <p>市民が議会に期待するのは議員同士の議論の様子である。議論をして最終的な落としどころを見せてもらいたい。市民が納得する結果にいかに関導かを見せてもらいたい</p>	<p>委員会審査や本会議における討論は実施しており、その過程を通じて議案の採決を行っています。</p> <p>その様子を「見える化」することが課題であると認識しており、委員会の放映や録画配信、YouTube等での配信等の検討が必要であると考えています。</p>
<p>②議会傍聴の呼びかけと傍聴者への配慮</p>	<p>傍聴については、面白くないイメージ、難しいイメージがある。興味・関心のある議題をピンポイントで見たい。議会開催を休日とか夜間とかにすれば参加しやすいのではないか。</p> <p>傍聴を呼び掛けても、いざ傍聴に来ても議論の内容が分かりにくいことと自分に関心や興味がない内容でないと次の傍聴にはつながらない。</p>	<p>委員会の放映や録画配信、YouTube等での配信等の検討と併せ、今後、議論していきます。</p>
<p>③傍聴を促すチラシ</p>	<p>チラシは目にしていない。何</p>	<p>一般質問のチラシでおおま</p>

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方
への改訂	が議論されるのか解らないと参加意欲に繋がらない。	かな日程と内容はアナウンスしています。内容面などについて、今後とも検討していきます。
	議会への興味を持ってもらうための取組みが必要である。	今後、十分議論していきます。
④議場コンサートの開催	旧波賀町時代に議場コンサートがあり参加した経験がある。施設の有効活用という点ではよいと思うが、議場コンサートが議会への関心につながるかどうか疑問である。	議場コンサートの開催（例えば、中学生の吹奏楽の演奏）を通じて、議会を身近に感じてもらう工夫が必要と考えています。
	有名な方でも人集めは難しい。一人でも二人でも増やすつもりなら・・・	高校生対象の主権者教育等の実施も企画しています。 まずは議場に足を運んでもらう、ふれてもらう、空気を吸ってもらうことが大事かと考えます。
*市民と議会の関係 情報の公開・共有を進める ①傍聴者への議案貸出	議案書の貸し出しでは不十分。自宅で傍聴内容の確認も必要である。検討してほしい。	議案書の配布は量の問題、事後の取り扱いの問題等が懸念されるので、電子媒体等での配信について、今後検討する必要があると考えます。 (タブレット導入・議場モニター等も含め)
②請願・陳情制度の周知	イメージとして、「しーたん」に請願を提出するような、ゆるやかな感じだと、提出しやすい。	請願・陳情がしやすい環境の整備は検討しなければなりません。請願等の制度には、所定の要件（議会への橋渡しをする議員の紹介など）が必要です。
③おでかけ市議会の充実	おでかけ市議会と議会報告会の違いが解らない。	おでかけ市議会は、市民との意見交換などを通じて、市政の政策提案に繋げていく事を目

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方
		<p>的にしています。</p> <p>懇談の方法は、より良い内容を検討していきます。</p>
④議会報告会の充実	<p>市民との意見交換もよいが、条例や制度について、議員がどう考えているのかの討議をしてもらいたい。</p>	<p>議会報告会としての目的、役割もありますから、ご意見の内容は、別の機会を設ける必要があります。</p>
	<p>議会報告会は、敷居が高いイメージ（議員に対しても先生？）、難しいイメージ、参加するには相当の覚悟が必要。優先順位、面倒くさい、意見を求められたら・・・などの不安がある。</p> <p>参加者の顔ぶれが分からないことも不安の一つ。</p>	<p>議会及び議員に対する意識や市民との間に相当のギャップがあることがわかりました。</p> <p>原因は、市議会にありますので、意識変革、ギャップを埋めるため、日頃から、今回のような懇談会や関心を持っていただく議会報告会等になるよう努力していきます。</p>
	<p>「議会報告会」というネーミングが硬いイメージ。</p> <p>親しみやすい、とっつき易いネーミングにすべきでは。</p>	<p>堅苦しいイメージは払拭すべきなので、ネーミングは検討します。</p>
	<p>普段付き合いの無い人との交流も生まれる。</p> <p>ワークショップ方式は、良いと思います。</p>	<p>今後もより良い方法を検討していきます。</p>
	<p>子どもを持つ親としては金曜日の夜が参加し易い。</p> <p>とにかく一回参加してもらうように誘い、参加者が次の参加者を誘うように徐々に巻き込んでいくような取り組みが必要だと思います。</p>	<p>開催日については、参考にさせていただきます。</p> <p>参加経験者の方が、誘っていただくことは大変ありがたいことです。</p>
	<p>私たち（モニター）のような</p>	<p>議会モニターやサポーター</p>

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方
	立場の人を増やしていく、巻き込んでいく、サポーターを作ることが大事である。	市民を増やしていくよう、検討していきます。
④議会報告会の充実	開催回数が増えれば参加する機会は増える。世代別・課題別等対象を絞り込んでの開催も良いのでは。	開催単位（学校区）やテーマなども検討課題です。 出来る限り、小規模単位の開催を検討していきます。 また、学校区とは別に女性、若者、商工会などの団体単位での議会報告会は、開催しています。
	市長部局もタウンミーティングをしているので同じものは必要ない。議会報告会は、決まったことの報告ではなく、議員の公開討論の場にして欲しい。	議会報告会としての目的、役割もありますから、ご意見については、別の機会を設ける必要があります。
	情報発信も必要だが発信は、一方通行なので市民懇談会などの意見交換の場が必要である。 市民懇談会で意見を求められても窮する・・・それよりも議員間での議論を見せてそこへ巻き込んでいくような方法がよいのではないか。そのことから、自分の考え方に近い議員は誰かを見極めたい。	市民懇談会のあり方について、さらに研究、検討を進めていきます。 また、議会報告会は、議会の説明責任や市民意見の聴取という役割がありますので、ご意見については、別の機会を設けていただく必要があります。
	朝まで生テレビのように市民の関心が高いテーマについて議員間で議論するところを見せると面白い。今、あるものをどう見せるかではなくて、見せるための議論をする。 16人の議員が必要であると	議会は、議員相互の自由討議などにより、議論を尽くして合意形成に努める必要があります。 今後、本会議や委員会における議員間討議の様子を録画やYouTube等で配信できるよ

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方
	<p>思えるように議論を見せる。議会としての議論・・・議員間討議をどう見せていくか。</p>	<p>う検討します。</p>
<p>* 議会広報</p> <p>多用な手段による広報活動</p>	<p>ケーブル放送の視聴率は分かるのか、しそチャンネルの加入率が低い、工事費と月500円を負担してまで観ようとは思わない。</p> <p>無料なら観るかもしれない・・・地域の祭り、知人が出ているとき・・・要は関心がある内容かどうかである。</p>	<p>ケーブルTVは、重要な施策や事業などの審議の場を公開する一つの手段であるため視聴いただきたい。</p>
<p>市民意見、要望の聴取</p>	<p>市民が集まるイベント等にネクタイを外して参加している話や意見交換をすればいいのではないか。(例) さつきマラソンに参加して議会ブースを作って市民とふれあう。話しをすることで距離感を詰めてサポーターを増やす。</p> <p>中学生がせせらぎ公園の改修を待っているというような意見を直接聞く機会も大切である。母親世代(30～40代)ではもう遅い。こうならないように若い世代にアプローチしていく必要がある。</p> <p>(例) にしん・・・お金の話、病院・・・命の授業、議会・・・学校へのエアコン設置の経緯等を話すことで議会や議員を身近に感じることができる。</p>	<p>傍聴者を待つだけでなく議員が地域や市民の中へ積極的に出ていくことで情報を発信したり、議会への関心を高めてもらえるよう、議会、委員会活動として、調査・研究を重ねていきます。</p>

検証項目	市民意見の内容	議会改革特別委員会の考え方